

8月26日（月）

私の物語！

聖書朗読 イザヤ 55：8～13

私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。ローマ 1：16～17

私達は、夜通し講義を聴くようなことはしませんが、もし、誰かから、もしくは映画やテレビ番組で、良い話が聞けるなら、数時間ぐらいなら座っているでしょう。もし、お話が単に興味深いだけでなく、良いものであるのなら、私達は、どうにかして、変わろうとさえするかもしれません。

使徒の働きに記録されている、初期の説教はとても印象的です。その大部分は、イエスの死、埋葬そして復活のお話を物語るのです。それはまさに物語なのです。説教に耳を傾ける聴衆達は、いつも、その物語の一部となるような気分になるのです。そして、彼らの応答はいつも力強いものでした。

私の教え子の一人である女生徒は、信仰に関わるあらゆるものを知らされず、無神論者として育てられました。その後、彼女は、友人の勧めに従って聖書を読みました。彼女は聖書に懐疑的でしたが、ほとんど先入観なく読みました。そして、彼女は聖書の力に圧倒されてしまいました。彼女は、イエス様の物語である福音書を読んだ時、突然、「その物語の一部になりたい。」と思ったと、私に言いました。そして、今まさに、彼女はその中に生きているのです。

私達は、まさに今、「救いに至る神の力」の物語の中にいるのです。

聖歌 226

祈り 父よ。私達は、福音に勝る物語を知ることがありません。私達は福音によって変えられました。福音の物語に生きる私達と出会うことができますように、福音の物語に惹かれる友を私達にお与えください。

イエス様の御名によって。アーメン。

スティーブン・S・レムリー 副編集者

今日の力

2013年8月26日～9月1日

翻訳 小出友紀

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月27日(火)

清い手を上げて

聖書朗読 I テモテ 2:1~8

あなたの手もとにあるなすべきことはみな、自分の力でしなさい。あなたが行こうとしているよみには、働きも企ても知識も知恵もないからだ。

伝道者の書 9:10

手は特徴的です。あなたは、顔は美容整形で変えることができるかもしれませんが、手を変えることはできません。誰の手だか即座にわかりますか？ 伴侶、親、それとも先生でしょうか？ 私達は手によってお互いを知なのです。

ユダヤ人は、人前で祈る時には、手を上げて祈ります。それは献身と敬虔のサインでした。人々はそのスタンスに気を使ったのです。しかし、神様は心をご覧になりました。そして今もご覧になり続けています。

パウロは若き指導者テモテ対して、うわべだけのもの、見掛け倒しのもの、虚しき言葉に惑わされず、神が見るところの心に目を向けるようにと説いています。パウロは、礼拝者の日々の行いが、彼らの日曜日の祈りと一致することを願っていました。怒らず争わない——握り拳をふりあげない、恐れない——手を握り締めない。手は心の現れなのです。

あなたは、あなたの手のすることによってあなた自身が助けられたことがあると言えますか？助けを与える、思いとどまるように電話をする、衣服や食べ物を分かち合う、激励のために背中をポンと叩く、家を直す重労働をする、あるいは友情関係。あなたの手が、心の救いを表せるように今日、祈りましょう。

讃美歌 339

祈り 神よ。あなたは私の手の働きをご存知です。あなたの愛が私の働きに繋がるように私に敬虔な心をお与えになって下さい。

イエス様の御名によって。アーメン。

エミリー・Y・レムリー 副編集者

8月28日(水)

ミルトスの木

聖書朗読 レビ記 23:33~44

これを聞くと、彼らは、自分たちのすべての町々とエルサレムに、次のようなおふれを出した。「山へ出て行き、オリーブ、野生のオリーブの木、ミルトス、なつめやし、また、枝の茂った木などの枝を取って来て、書かれているとおりに仮庵を作りなさい。」
ネヘミヤ記 8:15

私達は、最近、オレゴン産のミルトスの木材から作られた愛らしい贈り物を受け取りました。木目の美しく自然な形は、木が必死に成長して生きようとして土壌から吸い取ったミネラルによって作り出されたと伝えられています。

イザヤ書41:19~21節によると、神は荒野に杉、アカシア、ミルトス、オリーブの木を、荒地に松、樅、イトスギをお植えになりました。これらの場所は木の生育には適していないので、神は、民衆が、それを創造されたのが神の御手によるものであることがわかるようにされたのでした。これらの木々は生き残るために必死に努力しなくてはなりませんでした。そのことが、美しい模様を木々自身に刻むことを可能にしたのです。

仮庵の祭りの7日間、神様は、民衆にやしの葉とミルトスを含む他の木々の枝葉を使って、仮庵を作るように命じられました。仮庵は、神の御前での喜びの期間、寝泊りする場所となったのです。

喜びの時には回復を、私達が苦しみの中にある時には希望が与えられます。そして神様は、ミルトスの木材の贈り物のように美しい模様を作り出して下さいます。

私達の生活にミルトスの木の美しさを映し出しましょう。私達の苦しみを通して、私達の信仰が強められますように。そして、私達の生活が、私達それぞれ生活の周囲に、かけがえのない強さの模様を映しだすことができますように。

讃美歌 90

祈り 愛する神様。苦しみの中から強さが与えられますように、私達の日々の生活の中で、あなたを映し出すことができますようにお祈りいたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

スー・レイサム

カリフォルニア州 アンテロープ

8月29日(木)

サタンはニンニクを使った？

聖書朗読 民数記 11:4〜9

これは、私たちがサタンに欺かれないためです。私たちはサタンの策略を知らないわけではありません。
Ⅱコリント 2:11

400年に渡る奴隷生活の後、イスラエルの民はエジプトから進み出しました。彼らは約束の地への途上にありました。サタンは、出エジプトを妨げることができませんでした。しかし、サタンは、何度も何度も旅路を邪魔することができたのです。サタンの最も効果的な武器はニンニクでした。ニンニクの記憶が、奴隷生活の辛い年月の思いの全てを消し去ってしまったのです。美味しい食べ物の夢のような光景が、イスラエルの民の一部を、耐えられない荒涼な旅路を進むカナンから翻させたのです。この人達は、何故、エジプトを去ってしまったのだらうと疑問に感じました。彼らは、ニンニクは覚えていましたが、彼らの神様のことを忘れてしまったのです。『しかし、彼らはすぐに、みわさを忘れ、そのさとしを待ち望まなかった。彼らは、荒野で激しい欲望にかられ、荒れ地で神を試みた。』(詩篇 106篇:13, 14)

今は、ニンニクへの欲望が、私達に、神様が私達のためになさって下さったことを忘れさせるようなことはありません。しかし、ニンニクを使ってイスラエルの民を墮落させたサタンの手には無限の代替手段のリストがあります。許すことのできない仕打ち、解消できない対立、非現実的な期待、等々、リストは続きます。サタンの手の内に気をつけなさい。

何よりも、私達がつき従い、私達をニンニクの記憶から脱け出させて、約束の地へと導く神様への信仰を保ちましょう。

讃美歌 379

祈り 愛する神様。私達に、全く無害に見えるようできて、あなたから引き離そうとする企みが潜んでいる事柄の脅威に気付かせて下さい。あなたの御恵みにより私達をお守り下さい。

イエス様の御名によって。アーメン。

エルマー・プラウト

カリフォルニア州 ウッドランド

8月30日(金)

神様はあなたを用いることができる

聖書朗読 民数記 22:21〜35

私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。
エペソ 2:10

C.S. ルイスは、メアリー・ヴァン・ドゥーゼンでの手紙で、逆境への対処方法について書いています。彼は、恐怖と希望について述べ、そして彼がそれらに対処することの困難さを感じていると述べています。彼は、神様は、最も不思議な手段を用いられて、目的を達成することができるお方であると考えています。手紙の中で、彼は、「私達は、バラムのロバ(民数記 22:22〜33)を思い出さなくてはいけない。」と強調しています。

時々、私達は、キリスト者として、何も与えていないのではないかという、霊的に不適切な思いに囚われることがあります。しかし、私達の思いは、一つのことを(私達が不完全であることを)教えてくれます。更に、神様のご意思は、私達を違った方法でお用いになることができるのです。

様々な、有りそうにもない、一見不可能と思える方法さえある聖書の物語は。神様によって、大いに用いられるのではないのでしょうか？ 結局、神様は、全てに力強く、バラムのロバを通して語られる物語と同じくらい不思議に思える道筋で、ご自身の意思を実現なさることが可能なお方なのです。

ですから、今日の私達の思いによらず、何であれ私達ができることを通してキリスト者としての歩みを続けましょう。今日は、全く平凡な日かもしれませんが、神様は、私達が予想すらできない驚きを造り出され、私達を通して、大いなることを成し遂げて下さることができるのです。私達は落胆を振り払い、神様が私達の人生を、神様の「隠された」目的を成し遂げるためにお使いになることができる場所に身を置くことができるのです。

聖歌 578

祈り 愛する神様。私達の思いによってではなく、私達を知ることによって私達の日々の歩みをお助け下さい。

イエス様の御名によって。アーメン。

トニー・アッシュ

テキサス州 アビリーン

8月31日（土）

国 の 希 望

聖書朗読 申命記 6:4～7

若者をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。
箴言 22:6

この世界の力の中心はどこにあるのでしょうか？ テレビは、富や政治家あるいは有名人のいる所と言います。しかし私達は異なった評価をします。昔、アトランタ・ジャーナル・コンスティテュション新聞の元編集者であったヘンリー・ウッドフィン・グラディが社説の連載の情報収集のためワシントンに出張した際に、彼は、到着するやいなや、「ここが、アメリカ合衆国の首都だ」と大声で叫びました。

数日後、帰路で、この著名な演説家は論説委員と一緒に、ある慎ましい家庭で一夜を過ごしました。就寝前に、一家のお父さんから、グラディに一家の聖書朗読と祈禱に加わるように勧められ、彼はそれに従いました。

グラディがアトランタに帰った時、彼は、「私は、アメリカ合衆国の首都に行ったが、それはワシントンにはなく、両親が読むキリストの教えを聞くことができる子ども達がいるアメリカの家庭にあった」と書きました。彼は、「そこにこそ私達の国家の力がある」と締め括っています。

神の国にいるということは、権力の政府所在地よりも、もっと力強く重要な場所にいるということなのです。創造の神への祈りは、真の力につながるのです。

讃美歌 第二編 173

祈 り 天と地を治められる主なる神様。世界は困難な時にあります。私達を御国につなぎとめ、主の道を歩むことができますように、お導き下さい。また、日々、私達の光を輝かせて下さい。全ての私達の行いを支えて下さい。
イエス様の御名によって。アーメン

ジョージ・メリット
アラバマ州 トロイ

9月1日（日）

小さな祈りが大いなる役割を果たす

聖書朗読 ヨシュア 2:12～22

どうか、私があなたがたに真実を尽くしたように、あなたがたもまた私の父の家に真実を尽くすと、今、主にかけて私に誓ってください。そして、私に確かな証拠を下さい。私の父、母、兄弟、姉妹、また、すべて彼らに属する者を生かし、私たちのいのちを死から救い出してください。」 ヨシュア記 2:12～13

ラハブが危険を冒して二人のスパイを匿った時、彼女は、家族の命を守るために駆け引きする機会を得ました。遊女ラハブは、スパイの命と引き換えに家族の命乞いをしました。

ラハブは家族を守ったのです。

遊女が異国から来たスパイと交渉することを想像してごらん下さい。ラハブは家族の命乞いをする勇気を持っていました。ラハブは、スパイを恐れており、神の力を知っていました。それでも、彼女は家族の命乞いのための交渉をしたのです。

私達の大半は、家族の命乞いをしたような経験はありません。私達は、肉体的安全は保証されているという安心感に浸っています。しかし、私達の家族が絶えず霊的危機にあることを自覚する必要があります。私達は、私達を自己中心的にさせたり、神に従わずにあらゆる欲望に耽らせたりする誘惑に取り囲まれています。

私は日々の祈りの中で、神様に家族の命をお守り下さいとお願いしていることを覚えます。時々、肉体的な安全について祈りますが、しかし、大半の祈りは霊的な安全のためのものです。私の祈りは、イエス様のお祈りと同じように、『彼らをこの世から取り去ってくださるようというのではなく、悪い者から守ってくださるようお願いします。』（ヨハネ 17:15）ということなのです。

讃美歌 308

祈 り 愛する神様。今日も、あなたの愛の御腕をもって、私の家族を包みこんで下さい。彼らが、あなたを見据え続けられるようにお導き下さい。あなたから去らせようと企む声からお守りください。
イエス様の御名によって。アーメン

ベス・ロビンソン
テキサス州 ラボック